

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関する授業
(2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2024年度 調査実施年度:2025年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
経法学部	1	国際環境法	(1)	3	総合法律学科	小林 寛 久保田 隆	国際法の基本的な考え方と重要な概念についての概説を行ったうえで、条約、国際慣習法を中心に形成されてきた国際環境法の基本原則等について概観する。
	2	国際刑法／環境と刑法	(1)	3	総合法律学科	久保田 隆	本講義では、国際刑法、すなわち、①国内刑事法の国際的側面と②国際法の刑法的側面を扱う。これらの学修を通じて、現下の国際情勢(特に、重大な環境損害を伴う武力紛争)を考察する。
	3	環境法Ⅰ及びⅡ	(1)	2	総合法律学科	小林 寛	環境法に関する講義を総論(生成経緯・基本理念・原則等)と各論(大気汚染・水質汚濁・土壤汚染・廃棄物処理・自然公園・生物多様性・気候変動等)に分けて行った。
	4	環境法務実習	(1)	3	総合法律学科	小林 寛	大学で学んだ環境法学が社会における業務の現場(行政、法律事務所、民間企業)においてどのように運用されているのかということを実践的に学修する機会を提供了。
	5	国際環境法	(1)	3	総合法律学科	小林 寛 久保田 隆	国際法の基本的な考え方並びに条約・国際慣習法を中心に形成されてきた国際環境法の基本原則及び各論(気候変動、オゾン層破壊、有害廃棄物の越境移動等)を概説した。
	6	環境と憲法訴訟	(1)	3	総合法律学科	成澤 孝人	日本国憲法における環境権について、憲法訴訟論の中で、その意義を解説した。
	7	国際政治	(1)	2,3,4	経法学部	美甘 信吾	国際社会の課題、グローバルイシューについて学ぶ。SDGsは課題解決へ向かう重要な国際的な目標と位置付けられる。
	8	基礎演習	(1)	2	経法学部	美甘 信吾	政治・行政課題、グローバルイシューの重要課題として環境問題・エネルギー政策も学んでいます。
	9	発展演習	(1)	3	経法学部	美甘 信吾	政治・行政課題、グローバルイシューの重要課題として環境問題・エネルギー政策も学んでいます。
	10	環境法入門	(1)	1	共通教育 (全学教育センター)	箕輪 さくら	地球環境、自然環境、都市環境に関する現代の諸問題とそれに対する法的対応について概説を行う。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2024年度 調査実施年度:2025年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
経 法 学 部	11	水環境法	(1)	3	経法学部	小林 寛 船渡 康平 箕輪 さくら	水環境法に関わる法理論がいかなる内容を持つかを考察しつつ概説を行う。
全 学 教 育 セ ン タ ー	1	生活の中の化学 化学の世界	(1)	1	共通教育 (全学教育センター)	勝木 明夫	環境問題の基本となる基礎化学の内容を授業で扱い、環境問題についても考えるきっかけとなるように進めた。
	2	持続的「食・農・環境」論ゼミ	(1)	1	共通教育 (全学教育センター)	浜野 充	多くの食料やエネルギーを他国の農産物輸入に頼る食料システム、化学肥料や石油燃料に頼る農業生産・流通システムと環境への負荷について理解し、現在の食料システムの持続性について議論する(講義・グループワーク・実習)。
	3	オンライン国際共修プロジェクトB-1	(1)	1	共通教育 (全学教育センター)	浜野 充	学生が白馬村で導入が開始されたAIオンデマンド交通サービスを実際に利用し、効果や課題、必要な改善点を提案する。同時に、高齢化する集落の交通課題を理解し、同サービスが課題解決に結びつく可能性を検証する。
	4	環境問題の社会学入門	(2)	1	共通教育 (全学教育センター)	金沢 謙太郎	本講では、環境社会学の理論的思考や実践的研究方法を学んだ上で、環境問題に対する自分なりの考察や批判ができるることを目標とします。
	5	環境共存の社会学入門	(2)	1	共通教育 (全学教育センター)	金沢 謙太郎	この講義を通じて、かつて人と環境の関係がどういうものであったのか、現在それがどういう状態におかれているのかを見定める知恵や想像力を養います。
	6	信州生態資源ゼミ	(2)	1	共通教育 (全学教育センター)	金沢 謙太郎	生態資源とは、人とともに存在し生きてきた資源を指します。県内の生態資源を事例とし、それらの利用の歴史と現状、展望を探ります。
	7	モノを辿るアプローチゼミ	(2)	1	共通教育 (全学教育センター)	金沢 謙太郎	このゼミでは、消費者の関心や想像力を広げるとともに、原産地の環境や生産者・労働者の暮らしを改善する知恵や方法論を探究します。
	8	社会学概論	(2)	3	経法学部	金沢 謙太郎	本講では、環境問題、環境文化、環境行動の3つの領域における問題群から、具体的な事例に基づいて考えていきます。
	9	日本国憲法	(1)	全	共通教育 (全学教育センター)	小池 洋平	日本国憲法を素材として、法的環境および政治的環境について概説した。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
(2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2024年度 調査実施年度:2025年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
全 学 教 育 セ ン タ ー	10	現代社会における人権	(1)	全	共通教育 (全学教育センター)	小池 洋平	現代社会における人権問題を素材として、法的環境と政治環境で生じている問題を人権の視点からいかに解決すべきかを解説した。□
	11	現代社会における統治機構	(1)	全	共通教育 (全学教育センター)	小池 洋平	現代社会における統治に関わる憲法問題を素材として、政治環境で生じている問題を法的にいかに解決すべきかを解説した。□
	12	自然環境と文化	(1)	1	共通教育 (全学教育センター)	分藤 大翼	人類学的な知見にもとづいて、食文化、病と癒し、死と儀礼といった項目について、自然環境と密接に関わりながら生きている人々の文化を紹介し、私たちの文化と比較することを通じて、今後の自然環境との望ましい関わり方について考える。
	13	トレッキング	(1)	1	共通教育 (全学教育センター)	廣野 準一 加藤 彩乃	「信州の自然体感」をテーマに、自己の身体を再確認し、運動の重要性の認識と生涯学習への導入を図るとともに、信州の自然環境を体感することにより環境問題についての理解を深める授業。□
	14	第四紀学	(1)	2	理学科地球学コース	山田 桂 山田 昌樹	過去260万年間の地球の様子がどのように変化したのか、その原因は何か、について、関連する知識をふまえて解説を行う。
	15	グリーンサイエンス通論Ⅱ	(1)	2	理学部	山田 桂他	地球環境、生態系、気候変動などをトピックスとして、オムニバス形式で理学に関する幅広い知識をつけるための講義を行う。
	16	環境と暮らしを考えるゼミ	(1)	全	共通教育 (全学教育センター)	矢原ひかり	自分の暮らしと環境問題の関わりを具体的に考え、環境問題を”自分ごと”として解決に向けた行動につなげる力を養うことを目指します。
理 学 部	1	計測化学特論	(1)	修士1年	化学ユニット	高橋 史樹	諏訪湖の採水を通じて環境への理解を深める。
	2	分析化学特論II	(1)	3	理学科化学コース	高橋 史樹	分離分析に関する分配法則に基づいた廃液処理の知識・技術の理解のを深める。
	3	分析化学演習	(1)	2	理学科化学コース	高橋 史樹	河川水などの成分分析技術の紹介と、適切な分析化学方法の選択に関する知識および理解を深める。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2024年度 調査実施年度:2025年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	4	グリーンサイエンス通論 I	(2)	1	理学科化学コース	樋口 雅彦 他	グリーンサイエンスの内容を担当し、化学物質による環境汚染を防止し、人体や生態系への影響を最小限に抑えることを目指した化学についての講義を行った。
	5	分析化学実験	(1)	2	理学科化学コース	巽 広輔 高橋 史樹 金 繼業	実験で出る廃液の環境への影響について説明し、その適切な処理方法について指導した。
	6	分析化学特論III	(2)	3	理学科化学コース	巽 広輔	環境分析に関連する論文を取り上げ、その内容を紹介するスライド資料を作成させた。
	7	物理化学実験	(1)	3	理学科化学コース	浜崎 亜富 二村 竜祐 飯山 拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。
	8	物理化学II	(1)	2	理学科化学コース	飯山 拓	熱力学に関する基礎的講義の中で、温室効果ガスである二酸化炭素やメタンの性質について触れた。
	9	物理化学III	(1)	3	理学科化学コース	飯山 拓	物理化学に関する基礎的講義の中で、フロンガスがなぜ利用されたか、オゾン層破壊など、どんな問題を生じたかについて触れた。
	10	物理化学実験	(1)	3	理学科化学コース	飯山 拓 浜崎 亜富 二村 竜祐	実験試薬、廃液の取り扱いについて学んだ。
	11	物理化学実験	(1)	3	理学科化学コース	浜崎 亜富 二村 竜祐 飯山 拓	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	12	物理化学 I	(1)	2	理学科化学コース	浜崎 亜富	量子化学・光合成反応を絡めた環境についての講義

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
(2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2024年度 調査実施年度:2025年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
理学部	13	化学実験	(1)	1	理学部理学科	石川 厚 浜崎 亜富他	実験試薬、廃液の取り扱いについて教育を行った。
	14	グリーンサイエンス通論Ⅱ	(1)	2	理学部	村越 直美 他	グリーンサイエンスに関する内容を6名の教員が分担して講義する
	15	地球史学	(1)	2	理学科地球学コース	吉田 孝紀	地球環境の変遷を教える
	16	地学概論Ⅰ	(1)	1	理学部・農学部	吉田 孝紀	地球環境の成り立ちを教える
医学部	1	動物と人間社会	(1)	全	共通教育 (全学教育センター)	山中 仁木	「動物の命」および「動物と人間社会との間にある問題とリスク」をテーマとして、新興の人獣共通感染症発生など自然や動物との共生を含む考えるべき諸問題について紹介し議論する。
	2	放射線安全実習	(1)	2,3,4	理学部	廣田 昌大	放射線の基礎、人体影響、関連法令等について講義を行った後、自然界の放射線量の測定、霧箱を用いた放射線の観察等を行った。
	3	私たちと放射線	(1)	全	共通教育 (全学教育センター)	廣田 昌大	放射線の基礎、人体影響、関連法令等のほか、近年の気候変動に伴い温室効果ガスの排出が少ない発電法として知られる原子力や核融合のメリット、デメリット等の講義を行っている。
	4	社会医学:公衆衛生行政の実際1、2	(1)	4	医学部医学科	塚田 昌大	県、地域の公衆衛生行政の実際について授業を行った。
	5	社会医学:疫学調査の実際1、2	(1)	4	医学部医学科	武林 亨	環境疫学研究の実際について授業を行った。
	6	社会医学:環境医学1	(2)	4	医学部医学科	野見山 哲生	人に影響を与える外部環境、有害要因の吸収・代謝・蓄積、有害性評価について授業を行った。

環境影響調査集計表 環境影響に関する授業一覧

分類: (1)自然環境、社会環境、文化環境、医学・保険環境等の理解促進に関わる授業
 (2)環境側面(環境に影響を与える要因)を個別具体的に対象とする授業

(対象年度:2024年度 調査実施年度:2025年度)

部局	No.	授業題目	分類	学年	開講学科・専攻	担当者	授業の概要
医学部	7	社会医学:環境医学2	(2)	4	医学部医学科	塚原 照臣	物理的環境要因および水環境要因と健康影響、地球温暖化について授業を行った。
	8	ユニット講義(社会医学・医療管理):災害保健・国際保健	(1)	6	医学部医学科	國井 修	災害保健および国際保健の重要性について授業を行った。
	9	ユニット講義(社会医学・医療管理):微小粒状物質PM2.5	(2)	6	医学部医学科	長谷川 航平	微小粒子物質による健康影響および環境保健対策について授業を行った。
	10	ユニット講義(社会医学・医療管理):健康長寿長野における保健医療	(1)	6	医学部医学科	小林 良清	健康長寿長野における保健医療の実際について授業を行った。
	11	ユニット講義(社会医学・医療管理):環境保健・職業性胆管がん	(2)	6	医学部医学科	野見山 哲生	印刷事業場で発生した事例を踏まえ、職場における環境保健について授業を行った。
	12	ユニット講義(社会医学・医療管理):子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)	(1)	6	医学部医学科	野見山 哲生	エコチル調査の概要、環境要因と子どもの成長・発達について授業を行った。
	13	社会・環境人間健康学概論	(2)	1	大学院修士課程	野見山 哲生 他	環境因子とヒトの健康について、ヒトに影響を与える外部環境について授業を行った。